

刊夕日四廿月十

常磐每日新聞

定額 一月五拾五圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
廣告費 五圓以上 二角 五圓以上 一角 五圓以上 八分
日曜 祭日の翌日休刊
日曜 祭日の翌日休刊
發行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社



遊戯三まいであれ

真繼、雲山

近頃は人力車といふものは殆んど影も見當らぬ。これは昔の話であるが老車夫の俸に乗ると遅くて賃金が高く、若者の俸に乗ると軽快で安かつた。經濟原則から見るとトントン漢な話である。輓いてゐる當人から見れば、さうした算盤が出るのである。車夫の好きといふはなさにせよ、輕快な程なら存外、面白いかも知れぬ。私の知る或る（奥さん）假りに乙夫人と名づけるは、色は黒いが矢鱈に働いて金を溜めるのが好きで、謂はゆる『働きの三昧』に入つてゐる。その乙夫人に取つては、働くことが愉快なので、それは遊戯よりも面白いのだ、それゆゑ金も溜まざるを得ぬ。但しその亭主といふのは、碁打と稱して、鼠が餅を引くやうに小遣ひを持ち出し、色の黒くない女と年中あそびたわむれてゐた、この方は、遊びに生れて來たのである。

更に私の知る甲夫人は、色は白いが働くのがイヤで、死ぬほど仕事が嫌ひである、嫌ひなからぬだからイヤ／＼働いて見ても直ぐ體に故障が出る、寝つくとも

さふ風だ。さればたま／＼一つの仕事をすれば、百の仕事をした程に身にこたえたまた百の仕事をしたと當人も思ふてゐるのであるが、能率は百が一も上がつてをらぬ、謂はゆる老人車夫とその軛を一にするのだ、こんな老車夫に乗り合せて亭主殿こそ五十年の不作である。

ノット

訪問時 間は午後一時より四時ころ迄がよろしうございます。日曜祭日の訪問は、前より打合せをおこなひたいと、先方で迷惑することがあります。

しかし天は二物を與へない代りに、必ず一能を與へる。甲夫人は何が好きかといふに、盛装して出歩くのが大好物であるも、散歩ではおまんまにならず、何んぞ外に一藝はなさやといふに、蚤取りの名人である眼につく程の蚤は百疋に一疋とは決して逃さない。夏分は半夜にして五十疋を下らず、閑あれば探し廻つてペチン／＼とやつてゐる。その出陣の構えたるや、謂はゆる蚤取り眼で、一厘の隙もない。劍道の達人が秘術を盡くすやうに、飛鳥の

はるけき程と聞きしかどととめて到るところなりけりと詠じた。そのやうにとめて到る道もありはするが嫌ひなもの好きになれよとは、無理な註文であり、私には、どんなに努力修練しても、百疋の内に一疋のみは取れない。好きな道は、努力がそのまゝ遊戯である。その努力即遊戯の一境に生くるものを天才といふ。現代は稼いで／＼食へない世態であるゆゑ、天才を職業とする生活が必ず成功するとの折紙はつけかねるが、たとへ天才生活が金銭的に成功せざるにせよ、天才に生くる遊戯三昧の一境に、その人の人生があり、生きて來た甲斐があるといふものである。

凡才は天才にあらざるも凡才中おのづからなる一技一能はあるので、その天分

二明日の献立
【朝】わかめー里芋ーみそ汁
【晝】葡萄ー短冊大根ー糸こんにしひたけー油揚げ
【晩】むし鮮ー其他の焼肴

を生かし、はぐくみ、培ふてゆくのが、その當人の生きてゆく天の與へた道であり、處世の要訣でもある。空也上人は極樂は

不況時代に愛煙家の一大福音
『巻たばこ』やめて一村榮えけり
粉な迄すえよ自力更生
おいしい巻煙草が御家庭で
ドシ／＼出來ます
（六錢の割）
材料五百本分に
付製造器具一揃
無代進呈
キザミ煙草を買つて來て『巻煙草』を作るのです。キセルで吞めば三分の一ポンと捨てる、粉末も惜しいが捨てねばならぬが、それを巻煙草につくれば最後の粉までおしく（粉ほどおいしく）頂けます。

大特價
（圖入製造法は詳細現）
巻煙草の材料五百本分箱入
一箱送料共大特價金六拾錢
（必要な製造器具は右の材料に添へて、無代進呈す）
製造品は最新考案。お子さんでも、どなたでも話しながら譯なくドシ／＼出來ます（本社代理部でも毎日子供が實驗……面白いはど好成绩です）「さつき」四十本で五百一本で出來るから、敷島「甘本」が材料代共六拾六錢で一手發賣元
東京市神田區分川小路二の二
日本佛教新聞社代理部
振替東京一五八六〇番

私たちが凡人は、生きてゆくことを重荷と感ずる人生の一旅客であるも、英雄や天才は、それを愉快とし、遊戯とする。人生の漫客である。凡人は人生を苦痛とするも、英雄、天才は人生を至樂の遊ぎ場とする。
兎もあれ、人みなに、遊ぎ三昧としての己れの人生を見つづけることを最先肝要とする。

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電一七〇

ツブシ・金銀 高價買入

廉價 町寧 迅速 修繕
計店 時野星
平三丁目驛前通り

醫院開業

私儀二十三日より左記の場所に於て耳鼻咽喉の診療に従事致し居り候間御眷顧之程奉願上候也
平町字中田町七〇番地【電話六九二】
山内醫院
醫學士 山内享吉
耳鼻咽喉科専門

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

一般物質 類券債種各

店質井三

岸川目丁四町平
番六〇六話電

月曜言論

新町長との握手

明日は新舊町長の歡送迎會が開催される、伏見氏が任期中俊敏の手腕を縦横に揮つて、町治の爲め眞に献身的努力を惜まなかつた崇高な態度には多數町民悉く熱謝する處であるが、同時に今回、満場一致を以つて遂に町長の椅子を占めた青沼氏に對して多大な期待を懸けてゐる。

青沼氏は其の人格に於いて、且つ貫祿に於いて、押しも押されぬ町長の適任者である事は、何人も異存のない處、従つて今後町の町政に、氏の人格が映發して、必らずや成果を納むべきは、決して想像に難くない。

故に吾人は此際新町長に種々の註文を付けるよりは寧ろ如何にせば新町長をして勇敢に其の抱負を實現せしめ、其の経綸を行はしむるを得るやに就いて、町民側が反省するの秋ではないかと思ふ。

由來平町には是非善惡の區別なく反對せんが爲めに反對するの惡風がある、是れが爲めに町治の圓滿を破壊して町政運行の上に種々の支障を來し、多大の損害を招く場合が決して尠くない、是れは理性を忘却して感情にのみ走る一種の盲動と見るべきである、斯くの如くんば決して完全な町政の刷新を企圖し得ない。

なからう。

新町長が如何に遠大な抱負を持ち、其の處信を斷行せんとするも、相手の町民が理解ある關心を持たず、且つ町民の代表たる町議の面々が小姑根性を發揮して揚げ足とりのアラ探しにのみ汲々たるものであつたとしたら、何時の時代になつても平町の根強い發展は望まれぬ。

斯くして如何に有能の町長と雖も其の爲す事の總べてに大なる食ひ違ひを生ずるに至つては、寧ろ出る釘打たるゝの愚を學ばんより、無爲無策、安閑たる日を無事に送らうとのロボット化するに至るであらう、これでは折角の名町長を迎へても平町は何んの益する處もない。

青沼氏が人材であり名町長である事は、満場一致の推舉が大鼓判を押して居る此上はこの良き町長をして思ふ存分に其の手腕を揮はしむる事である。夫れには町民の總べてが先づ満腔の誠意を以つて、青沼町長を支持し應援する事である、即ち町政轉換のこの好機に當つて、町當局と町民が渾然融合、協力一致の實を擧げて、非常時突破に努むべきが大切である。

晩秋の空高く

飛球盛んにうなる

軟式野球大會の盛観

平軟式協會第二回野球大會は昨二十三日午前九時より磐中A、B、平商、第一各グラウンドに於て開催されたが戦績は左の如くで準決勝及び決勝は近日行なふ豫定である。

▼A組第一回戦 磐中OB5—0白銀

五丁目3—1五右工門

遞友5—3古鍛冶

機關庫3—2常磐銀行

▼同組第二回戦 磐中OB3—2五丁目

遞友5—4機關庫

▼B組第一回戦 青2—1發電所

て午前八時より盛大な体育大會を催すと

入山炭礦体育會

石城郡湯本町入山炭礦運動部では昨廿三日午前八時より同礦グラウンドに於いて東京大會本社の野球團を迎へて戦つたが同チームには元早大の水原選手及び元帝大の遠藤選手等が活躍して居るも投手難で打撃戦となり入山また追撃の強打續かず

關東大 優勝カッパは

古河チームに

既報石城軟式協會第五回關東北庭球大會は秋晴れの昨日午前八時より磐中A、B両コートに於て根本、大坪外數氏審判の下に開催遠く東京市役所、仙鐵を初め四十チームの強豪揃ひとて大

接戦を演じスコアは左の如く榮ある優勝カッパはさく年の覇者好問古河炭礦の鈴木、木田組の手に歸した

△準決勝 好問古河 仙鐵

鈴木 木田組の手に歸した

△決勝 好問古河 仙鐵

鈴木 木田組の手に歸した

△決勝 好問古河 仙鐵

鈴木 木田組の手に歸した

△決勝 好問古河 仙鐵

鈴木 木田組の手に歸した

△決勝 好問古河 仙鐵

鈴木 木田組の手に歸した

△決勝 好問古河 仙鐵

鈴木 木田組の手に歸した

△決勝 好問古河 仙鐵

鈴木 木田組の手に歸した

町長時代の思ひ出

伏見彦衛氏談

在職期間を通じて最も肩身の狭い思ひを痛切に感じたる事は、平町に是れといふ代表的な名物がない事だ、他地へ旅行して見ると、夫々の土地に夫々の郷土色を

平俱樂部 仙鐵

高木 1—4 宮崎

佐藤 1—4 宮崎

△決勝 勝 仙鐵

好問古河 仙鐵

鈴木 5—3 宮崎

木田 5—3 宮崎

津 津

平百面鏡

山内耳鼻

醫者街の異觀

仲田町に新築中であつた山内耳鼻科醫院は愈々此程新築が落成開業し院長醫學士山内享吉氏が懇切に診療に従事して居るが同町附近一帶は同醫院を加へて恰も醫者街の觀がある

映畫の夕招待 著名の有志商店は廿四日夜聚樂館で映畫觀賞の夕を催す由にて顧客には招待券を呈上すると

平町人事 回出生

△久保町二二 當時東京市板橋區下石神井二丁目一三〇五 沼田千代吉氏三女良子

△五丁目六 諸橋久四郎氏二女陽子

多量に含んだ土産物がある其土地の名物を買つた事に依つて、其の土地への印象を深め、後々までも其の土地への親し味を感じしめる

誠に、名物は土地を紹介する上に於て大きな力を持つち、大きな役割りを演じて居る、然るに平町にはこれぞといふものがなく、また獨特のものを作り出さうとする努力も有して居ない、だから在職中他地から

々に「當地の名物は何んですか？」と聞かれる事が非常に辛く、其の度び毎に煮え湯を飲まされる様な思ひがした、

致方がないので、山國の旅人には「鯉節がある」と答へ海邊からの旅人には「石炭や木炭が出る」とお茶を濁して居たが、全く平町にはお國自慢の出来る名物が一つもない、

斯ふして身を斬らるゝ思ひに逢遇する度に、是非平町に獨立した生産業を興して、土産品としても手頃な名物を何か一つ造り度いと願望は熾烈であつた、停車場の呼賣りに「平名物何々」と叫ばして飛ぶ様に賣れる物が何かないかと他地の名物品等を蒐集しまた其道の人々の意見も徴して肝煎りした事もあつたが、在職中に此事なく終つたのは實に残念と思つて居る、

女教員脅迫の

怪犯人が頓死

カルモチンを服用して

睡眠後突然に心臓麻痺

平第三小學校の某女教員から金四十圓を脅喝せんと新聞記者を装つて無名の脅迫状を送り本社各員の

機智に依つて平署に檢舉された石城郡草野村大字下神谷字中田新聞取次業松本金太郎(三)は激烈な結核にて留置困難の爲め廿二日夜一先づ宅控へを許した處昨朝容易に目覚めぬ爲家人が

不審に思ひ寢床に至ると冷たい骸と化して居たので前非を悔いて自殺せらるにあらざるやと四倉署より警官出張検視し木村、大瀧兩醫師検診の結果心臓麻痺に依る頓死にて自殺にあらずと判明した因に同人は

病氣の爲め常にカルモチンを用えて居り同夜も平署より放逐直後のこととて昂奮の餘りカルモチンを服用した模様があるが醫師の診断に依ると命に別條ある迄多量に嚥下した形跡はないとの事である

鈴木豊春(好問)

武道選手決定 既報

來月六日福島市に開かれる縣下武徳會員の武術大會出場平署管内剣道弓道選手は左記の如く決定 (弓道) 柏原秀雄 小野菊

子を思ふ母の營み

昨日の平婦人總會

平婦人會は既記の如く昨日午前九時より平第三小學校に開催

會員演説 として門傳とみの、齊藤とし子、萩原たけ子の各幹事が夫々家庭婦人としての体験より種々適切な意見を述べ午後は女子高等師範教授倉橋惣三氏が「子供の家庭教育」と題し約一時間半に亘り平易な例を擧げて誤れる

家庭教育 を指摘し家庭教育の眞髓は母の脈より流るゝ愛情以外になしと説き會衆を感動せしめ午後三時散會した、因に伏見會長辭任に依り新會長に青沼せい子夫人また副會長の補欠として曾我わか子夫人が夫々當選した

前總理に

記念品贈呈

平婦人會の生みの親ともいふべき伏見産衛氏が町長退職と共に總理を辭任したので在任中の功勞に酬ゆべく

爐の残火から

飯野村の火事

石城郡飯野村大字中山字藁谷四〇居住石工佐藤庄七方より昨廿三日午前九時半頃發火し家屋一棟二戸を全焼して同十一時鎮火したが損害百五十圓原因は一家の者が藁買に出掛た留守中爐端の残火から發火したものである

繪畫展入賞

十五名を決定

既報磐城中等學校文會展覽會は去る二十二日より三日間堂の前磐城訓盲院に於て開かれたが出品點數は三百餘にて係員審査の結果入賞者十五名を左の如く決定した (美友會賞) 鈴木武(文會賞) 五ノ一鈴木武 五ノ二村山正吉 五ノ三鈴木仁 五ノ四水野茂松 同庄司昇 四ノ三佐藤文雄 四ノ五林武雄 四ノ一廣澤榮太郎 三ノ四永山利男 柏原進 二ノ三小林房治 二ノ一箱崎彰 一ノ四柴田輝雄 松田浩一 一ノ五小田榮

國民運動の前提に

非常時會議

窮乏匡救を請願

廿六日夜政談演說會開催

移住補助

六名取消さる

石城郡内左記六名は昭和六年度の北海道廳自作農移民として許可され未だに移住せぬ爲め北海道廳の移住補助を取消された

佐藤儀右衛門(入遠野)熊谷壽春(永戸)猪狩徳雄(内郷)菊地修 水野良徳

明日のラジオ

廿五日

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間) お話「街の出来事」が新聞にのる迄 鈴木文史郎
- 後六、二五 英語講座「初等科」(十四)岡倉由三郎
- 後七、三〇 産業ニュース
- 後八、〇〇 音曲「吹き寄せ」春風やなぎ
- 後八、三〇 放送映畫劇「聖なる乳房」山内光 栗
- 彌(劍道)片寄半五郎 齊藤義藏

今晩も明日も 北の風曇りがち 小雨模様

鳥すみ子其他大勢

後九、三〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組

明日の部

- 前九、一〇 料理献立「火を使はずに出来る一品料理」佐々木喜代松
- 前一〇、三〇 家庭講座「東京府施設の醫療機關の利用について」東京府

知事香坂昌康

- 後〇、〇五 催し「小原節」(越中矢尾おむら保存會)
- 頃江尻豊治 三味線高野庄次郎外
- 後〇、二〇 三曲「千代の篤」三枝藤井りえ 峯山本兼市 尺八中島晃山
- 後一、五〇 運動競技「六大學野球リーグ戦試合状況」慶應對明治第一回戦
- 後二、〇〇 家庭大學講座「明治の文學」浪漫派の運動「透谷(文學界)の一派」早大教授本間久雄
- 後六、〇〇 子供の時間 長唄 三枝俊子(十才)同高崎洋子(十二才)三味線

若生榮子(九才)同加藤つる子

- 後七、三〇 講演 滿洲國外交部總長謝介石
- 後七、五〇 記念講演(朝鮮京城より中繼)「信仰の伊藤公」伯爵兒玉秀雄
- 「朝鮮と伊藤公」頭本元貞
- 後八、二〇 常磐津「夕霧伊左衛門」淨瑠璃常磐津兼太夫外
- 後八、五〇 チロエと管絃樂(新交響樂團練習所より中繼)チエロ獨奏齊藤秀雄 日本放送交響樂團指揮ニコライシムエルブラッド
- 後九、三一(滿洲より)

セリ出した

お腹に怪物

其重さ二貫三百匁 外科手術奇談

石城郡赤井村長塚某の長女初音子(一)さんは二歳の時から急にお腹がセリ出した而し別段他には

異状なく 一昨年鷹崎看護婦學校を卒業したが一見妊娠何ヶ月とも見ゆる腹

客の

上衣を盗む

平町三丁目料理店久田カツ

印刷御用命は總て印刷日毎常

株式會社 印刷日毎常

電話六〇三番

幕末の剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫
手造酒

つた、どうだ少しは集つた人もあるか
政「へ、大そうな賑ひでして」
助「良い男が来たか」
政「へ、西壬の周太郎親分に宇都宮の甚五郎親分、又國定村の忠次親分も見えましてござんす」

角力の仕返しに
洲の崎の政吉は供の者の姿が見えませんから
政「彼奴が何處へ行つたか
まア、三人が来たならば私が先に戻つたと告げておくんなさいまし、ハイ今日は失禮いたしました……」
と繁藏の子分の者に云ひ残して四五丁來ると後から追つて來た三人が
長「兄イ、もう歸るのか」
政「何をしてゐたんだ」
長「なに、裏に相撲小屋が出来てゐてそこで見物してゐた」
政「さうか宿彌神社を再建する爲めの花會それで素人相撲を拵へたものだな」
長「さうでござんす、強い奴があつた」
政「汝は相撲を取つたな」
助「なに取りやアしねえ、見物してゐたばかりだ」
政「嘘をつくな、頭に砂が付いてゐるぜ」
長「オヤ、悪事露見か」
政「負たな」
助「なに負やアしねえ、笹川身内を三人計り投げ飛ばしたよ」
政「それも嘘だ、勝つた者なら頭に砂がつくや」
助「はなからう」



助「なる程、こいつは理屈だな、何もころがる氣ぢやアなかつたが此方から一杯押して行くと腕を引かれてポンと蹴られたそれで前へコロコロと轉がつた、口惜しいから物言ひを付けた」
政「親分、又明日伺ひますへエ左様なら」
そつてなくその日は我家

して出て來ると
助「オノ政、今日は是から笹川へ行く」
政「へ、何でお出になりませぬ」
と云つたが昨日明代を出して置きながら今日親分が行くなら何もそんな心配はなかつたが、お蔭でまづい思ひをしなければならぬ、政吉は我まゝにも程があると思つた
助「何にの政、別に譯があつて行くのぢやアねえ、相撲があるさうだ、昨夕長吉から聞いた、笹川の若い者には強い奴が居るとか、是から神樂獅子を伴れて出かけ笹川の若い者に一泡吹かしてやる」
政「それはお廢しなさい、態々出て行く程の事はありませぬ」
助「イヤ、行つて見る、跡を頼む」
と政吉の留るも聞かず助五郎は支度をして神樂獅子の大五郎、これは本場所の段目の中程まで取つた相撲ですが今は助五郎の子分になつてゐる、その者と他に七人ばかり若い者を伴れて飯岡を出た、この助五郎は物事の理解もあり、又才智もあるが餘りに勢力の旺盛になつた爲め近頃は十分傲慢になつて來た、一貫匁の目方のあるものを八百匁に詰めて置けば間違ひはないが、一貫匁の目方のあるものをそれ以上に見せ様とすると長持はしない、人間は盛んな時最も注意をしなければならぬ、助五郎は自分の

が是は成立たねえ
政「當りめえよ、轉がされた相撲に物言ひが付くか、まア、親分には黙つて居ろ」
口止めをしてその晩の時過ぎ飯岡へ戻つて來ました
助「イヤ政大きに御苦労だ

子分が繁藏の所で相撲に負たを怒りその恥を雪いでやらうと神樂獅子大五郎を伴れて笹川に來た、こんな小事に怒る様な男ではないが平常より繁藏とは餘り仲がよくない其處で座興にもしる子分が負たを残念に思ひそれを根にもつて態々出て來た、繁藏はこれを見ると繁「是は飯岡の、よく來て下すつた、昨日は政吉どんが名代に來て下すつて祝儀を送られ誠に有難うござんす」

運動靴は……
月星靴を
斯界の王實用無比
名入れ金具付き
サーピス
金四十五錢より
ゴム長靴は……
月星長靴を
堅牢優美で
かかしのが特色
小 八〇より
大 二〇〇より
製靴部
運動具部
大塚支店
平・田町電話七七番

科人婦・科外
院醫坂井
町田町平
番九五五話電

漆器の御買入時
漆器は空前の大暴落を致して最低価格に再び得難き御買入時です。
漆器を専門に在庫品を豊富に取り揃へ御満足を得るに努力致して居ります此の絶好機に御求めを切に御奨め申上げます。御満足を得らるやう！一度何様にも御相談に應じます。御照會を。
共榮漆器店
（平町三丁目36元郵便局裏通）
店員募集 十二才迄...小才迄...外才迄...
電話 六三三番

近日賣出す發賣品は
満腹
一人前十五錢で満腹
平町三丁目
せうじやう堂
電話 六三三番

りん病 永らく悩む人の福音
天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥
全圖知名新聞—こんなヨイクスリを未だ知らな
雑誌 推獎—い方がありませうか
右は岩里家古來よりの家傳秘法薬にして男女血らし慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各業であります。
尚ほ此の藥は責任速効薬で二日内服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します。
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。慢
美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
代金引換廿三錢手数料金納の事。
薬價 慢性用(赤箱) 一週分 參圓
急性用(黒箱) 一週分 五圓
慢性用(赤箱) 一週分 參圓
特約 平町古鍛冶町一〇
手販賣 阿康藥舖
縣社ノ下(電話四四番)

共榮漆器店
（平町三丁目36元郵便局裏通）
店員募集 十二才迄...小才迄...外才迄...
電話 六三三番